



モバイル&コラボレーション

2020年2月版



 **安全に関するご注意** ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

お問い合わせはカスタマー・インフォメーションセンターへ

 **0120-436-555** 受付時間:月曜～金曜 9:00～19:00 土曜 10:00～17:00(日曜、祝日、5月1日、年末年始など、日本HP指定の休業日を除く)
※フリーダイヤルがご利用いただけない場合 03-5749-8291(直通)

モバイル&コラボレーションに関する詳細は <https://www.hp.com/jp/telework>

Intel、インテル、Intel ロゴ、Ultrabook、Celeron、Celeron Inside、Core Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel vPro、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Phi、Xeon Inside、Intel Optane は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

引用された製品は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

記載事項は2020年2月現在のものです。

本カタログに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。

© Copyright 2020 HP Development Company, L.P.

株式会社 日本HP

〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1

OP015006-02





テレワーク推進と オフィス環境改革

テレワークのような柔軟な働き方の普及に伴い、オフィス環境にオープンスペースやフリーアドレスを導入する企業も増え続けています。

HPは世界中で大きく変化しているWorkforce(働く人々の世代)、Workplace(働く場所)、Work Style(働き方)の動向を調査し、その分析や洞察に基づいた製品開発をおこなっています。

働く人々に多くの事を実現してもらい、組織や社会をより良いものにするために日々、革新的なテクノロジーを創出する研究を続けています。



Contents

- 04 働く環境が急激に変化
- 06 テレワークは採用と定着率向上に貢献する
- 08 テレワークを進められない理由、その多くはITで解決可能です
- 10 テレワーク環境に求められるモバイルPCの条件
 - 12 テレワーク環境に適したモバイルPCのポイント
 - 14 なぜLTEモデルなのか
 - 15 LTE搭載モバイルPC & 機能マトリクス
- 16 コラボレーションを促進するオフィス環境に求められるデバイスの条件
 - 18 コラボレーションを促進するオフィス環境に求められるデバイスのポイント
 - 20 共用モニターのポイント
 - 21 オフィス環境改革に向けたデスクトップPCおよびモニター機能マトリクス
- 23 HP Workstation + HP Remote Graphic Softwareで建設・製造業界の働き方改革を実現
- 24 テレワーク導入に向けたHP製品
- 26 オフィス環境改革に向けたHP製品
- 28 HPがお勧めするコラボレーションクラウド
- 30 モバイルワーク時代の運用管理を支えるHP TechPulseプロアクティブ管理サービス

働く環境が急激に変化

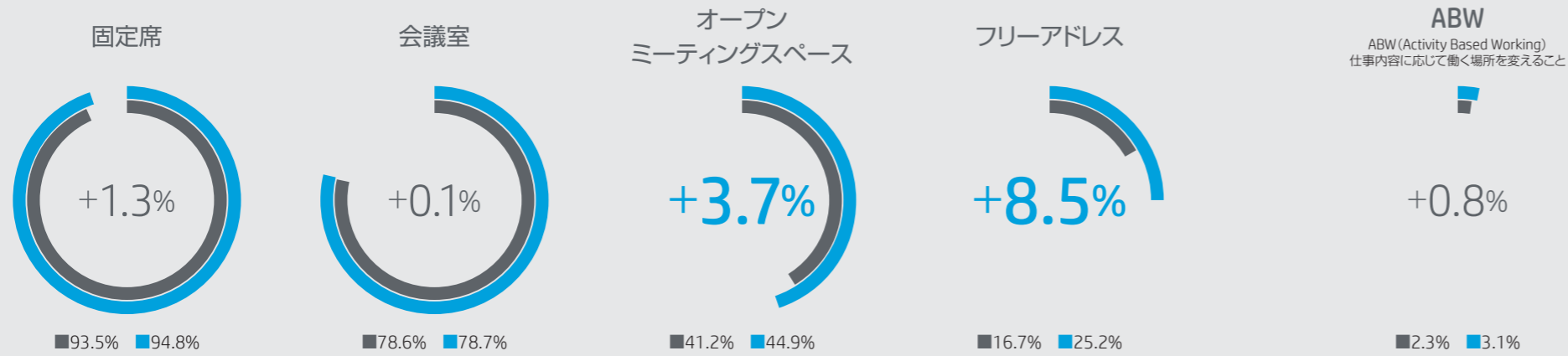
テレワークに関心が高まる中、オフィス内の働く環境も変わってきています。年々テレワークを導入する企業数は増え、2017年から2019年のわずか2年、従業員の働き方に合わせたオフィス環境の変化が見られます。

2017年～2019年の2年間の働く環境の変化



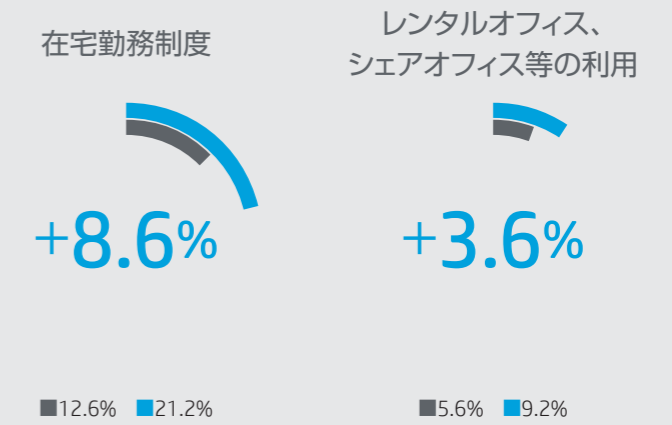
入居中オフィスのレイアウト

■2017年 ■2019年

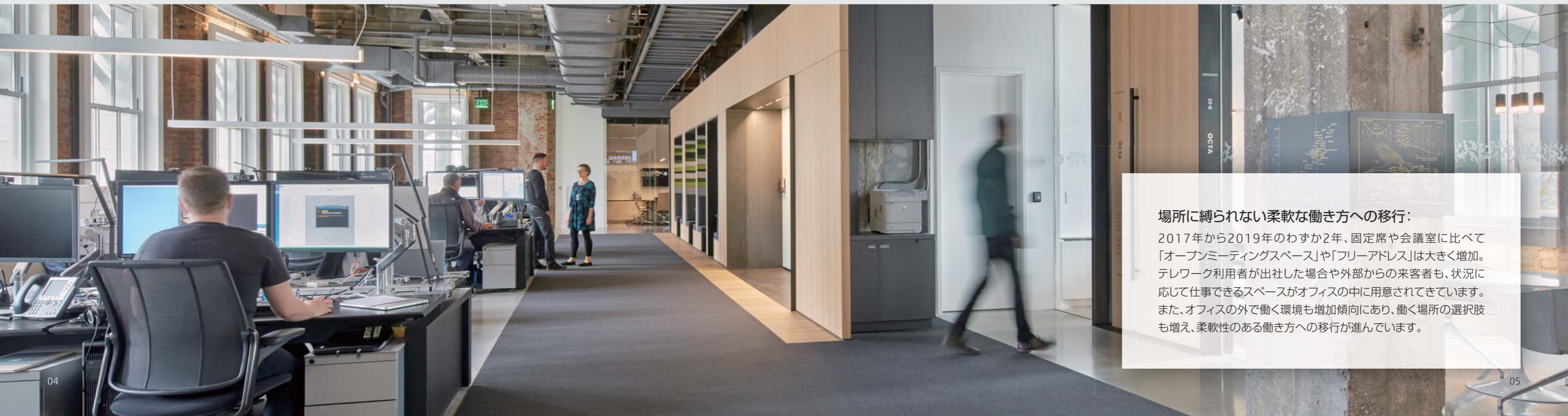


テレワーク支援のための取り組みを整備・用意しているのか

■2017年 ■2019年



出典:「大都市圏オフィス需要調査2019春」(ザイマックス不動産総合研究所)を基に日本HPIにて作成



場所に縛られない柔軟な働き方への移行:

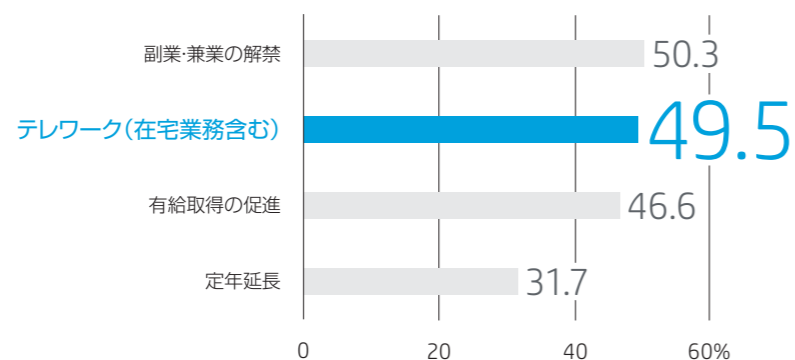
2017年から2019年のわずか2年、固定席や会議室に比べて「オープンミーティングスペース」や「フリーアドレス」は大きく増加。テレワーク利用者が入社した場合や外部からの来客者も、状況に応じて仕事できるスペースがオフィスの中に用意されてきています。また、オフィスの外で働く環境も増加傾向にあり、働く場所の選択肢も増え、柔軟性のある働き方への移行が進んでいます。



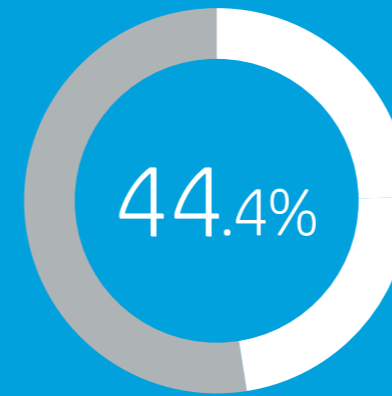
テレワークは採用と定着率向上に貢献する

テレワークなどの柔軟な働き方を推進する制度を導入・検討する企業が増えています。子育てや介護をしながらも仕事をしたい、移動時間を削減してデスクワーク型の業務時間を増やしたい、あるいは「集中したい」、「自分のリズムで働きたい」といったさまざまな声に応えることによって、優秀な人材の離職率を低下させる効果があります。また、新卒などの若い世代や中途転職者にとって、柔軟に働ける職場が応募動機に大きく影響する事が国内の各調査でも明らかになっており、「求人応募数が大幅に増加する」など、企業の採用面でのメリットにも注目が集まっています。

転職活動で応募する企業を選ぶとき転職志望度が上がる制度は?(複数回答)



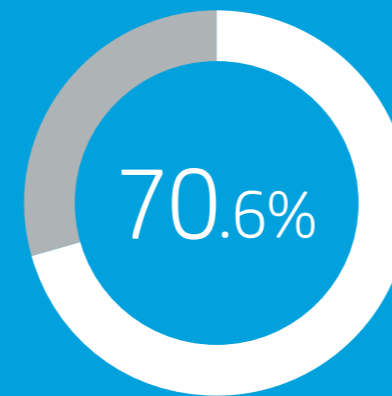
出典:日経HR「働き方」に関する意識調査2018



301人以上の企業におけるテレワークの導入意向

従業員数301人以上の企業の合計44.4%はテレワークに関心があり、内26.4%はテレワークを導入、24%は検討中または興味をもっています。また、300人以下企業でも関心をもつ企業が増えています。

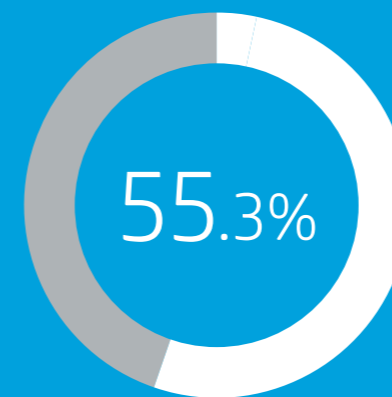
出典:総務省「ICT 利活用と社会的課題解決に関する調査研究」(2017年) (http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/linkdata/h29_06_houkoku.pdf)を加工して作成



テレワークの実施効果

テレワーク制度などを設けている企業のテレワーカーの70.6%が、テレワークの実施について「全体的にプラス効果があった」と回答しています。

出典:国土交通省「テレワーク人口実態調査」(2018年) (http://www.mlit.go.jp/crd/daisei/telework/docs/29telework_jinko_jittai_gaiyo.pdf)を加工して作成



20代のテレワーク導入に関する意向調査

20~29歳の若い世代の3.4%はテレワークを既に利用しており、今後の利用に前向きな回答は、51.8%とほかの世代に比べ最も高く、利用していると合わせて55.3%が肯定的な考えを持っています。

出典:総務省「ICTによるインクルージョンの実現に関する調査研究」(2018年) (http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/linkdata/h30_03_houkoku.pdf)を加工して作成





テレワークを進められない理由、その多くはITで解決可能です

若い世代や経験者を中心に肯定的な考えをもっているテレワークですが、「対面コミュニケーションの重要性」「セキュリティへの不安」「勤怠管理が困難」といった理由から否定的な考えを抱えている人達があります。これらの理由でテレワーク化を進められないと思いがちですが、そのほとんどはITで解決することができます。

先進企業が行っている働く環境整備

クラウドやモバイルPC環境、セキュリティ対策を整備、管理することで、どこにいても不自由なく業務をすることができます。そのためにはテレワークの環境に対応した製品も必要となってきます。

デバイス管理クラウド

HP TechPulse
プロアクティブ管理サービス



Webで見る

業務アプリクラウド

Office 365・Microsoft 365、
Microsoft Teams、Zoomなど



Webで見る

勤怠管理クラウド

勤怠管理サービス一覧



Webで見る

テレワーク環境



カフェ・移動中

外出先では突然のアクシデントが発生しやすくなります。テーブルからの落下や満員電車の圧力にも耐える圧倒的な堅牢性が必要です。また、カフェや移動中の飛行機・新幹線など周囲からのぞき見されないこと、パスワードを入力せずに簡単かつ安全な認証(指紋や顔認証)できるセキュリティ機能もポイントです。

45%

テレワークの実施結果、残業時間約45%減少と業務効率化に貢献
テレワーク・デイズ2018
実施結果 総務省 経済産業省



サテライトオフィス(訪問先)

サテライトオフィスや訪問先でも快適に業務をおこなうために必要となるのは、整備された通信環境への対応です。Wi-Fi 6対応であれば高速・安定通信をワイヤレスで実現します。また、セキュリティスロットがデバイスに搭載され、セキュリティロックケーブルがあれば少しの間だけ席をはなれるときも盗難を防止します。

14%

テレワークの実施結果、事務用紙等約14%減少とオフィスコスト削減に貢献
テレワーク・デイズ2018
実施結果 総務省 経済産業省



在宅

在宅勤務ではWeb会議でオフィスと手軽につながることがポイントですがそこで重要になるのが音響環境です。騒音でも音声がかき消されずPCの背面にいても集音でき、クリアで高音質なサウンドを再生できること。また、家庭内の脆弱な環境でもマルウェアの防御や回復ができるセキュリティ対策も必要です。

150%

在宅勤務の時間は2年間で150%増加すると予測
TechnalysisResearch

オフィス環境



フリーアドレス

誰もが利用できるフリーアドレスでは、快適に使える共用デバイスが設置されていることがポイントです。また、共有のスペースを整理整頓し広々と使うためにも、1本のケーブルでさまざまな機器とつながるドック機能や設置面積をゼロにするモニターが活躍。さらに、セキュリティロックケーブルがあれば盗難を防止します。

58%

58%の企業で、「フリーアドレス」または「共有スペース」で働く人が増加と回答
International Facility Management Association 2015



固定席

専門的な業務が多い固定席からおこなうWeb会議は、デバイスに搭載されたWebカメラをはじめ専用機能がコラボレーションを簡単にかつ活性化させます。また、ディスプレイは画面を2つ同時に使えたり、ブルーライトカット機能等、長時間作業が疲れにくく作業効率化のメリットもあります。

42%

複数の液晶ディスプレイモニターを使用するユーザーは、生産性が42%向上
Jon Peddie Research "Multi-monitor Usage and Trends" Report, July 2017



会議室

会議室からのWeb会議は、簡単な操作で必要なときにすぐに会議を開始したり、参加者の追加やコンテンツの共有ができることがポイントです。そこで、専用システムに対応した端末が活躍します。時間短縮や生産性向上に貢献。また、特定用途専用になることで用途に応じて機能をカスタマイズし管理を簡素化できます。

2倍

オーディオカンファレンス(電話会議)は5年間で2倍になると予測
WainhouseResearch / Polycorn Study

テレワーク環境に 求められる モバイルPCの条件

テレワークによる働き方において、通信技術を活用したコミュニケーションを快適に、そして安全に実施するためには、その環境に適したモバイルPCやセキュリティ対策が必要です。



在宅

- 騒音でも音声がかき消されずPCの背面にいても集音できること
- 低音から高音までクリアで高音質なサウンドを再生できること
- 家庭内の脆弱な環境でもマルウェアの防御や回復ができること



カフェ・移動中

- 落下、加圧にも耐える圧倒的な堅牢性があること
- 長時間駆動と同時に、短時間で高速充電できること
- 飛行機や新幹線など周囲からのぞき見されないこと
- パスワード入力なしで簡単・安全な認証できること
(指紋、顔認証などへの対応)



サテライトオフィス(訪問先)

- Wi-Fi 6対応で高速・安定通信をワイヤレスで実現できること
- セキュリティスロットがあり盗難防止ケーブルが使えること
- 滞在時間が短くても、短時間で高速充電できること



テレワーク環境に適した モバイルPCのポイント

カフェ・移動中

落下76cm / 500kgf加圧 試験クリア

76cmからの落下試験をはじめとした米軍調達基準 (MIL-STD-810G)に加え、天面加圧試験500kgfをクリア。標準的なテーブルの高さ700~720mmからの落下や移動による衝撃にも、安心して使い続けられます。



動画を見る

在宅勤務

Bang & Olufsen監修 プレミアムスピーカー

上質なサウンドと卓越したデザインに定評のあるBang & Olufsenとの共同開発により多様な趣向にマッチする、バランスの良いナチュラルなサウンドを奏でます。

在宅勤務

騒音に干渉されない音響環境

周りの音声を正確に届ける360°全方位マイク。そして、ステレオマイクロフォンとデジタルプロセッシング技術を駆使したノイズキャンセル機能は、周囲のノイズや、キーボード音を除去して快適なWeb会議をサポートします。



動画を見る

カフェ・移動中

AIを活用して マルウェア検出

ディープラーニングAIを活用してマルウェアを検出し、ブロックするセキュリティ機能。Windows Defenderとの組み合わせで、既知のマルウェアだけでなく、未知のマルウェアについても約99%を最短で20ミリ秒(1ミリ秒は1000分の1秒)で検出します。



Webを見る

カフェ・移動中

のぞき見から データを保護

ビジュアルハッキング(のぞき見によるデータ盗難)を防ぐ内蔵型プライバシースクリーン機能。簡単なボタン操作でプライバシー機能を有効および無効にできます。



動画を見る

サテライトオフィス(訪問先)

高速通信環境 (LTE、Wi-Fi 6対応)

LTE-Advancedは既存のLTEと比較しさらに高速な通信が可能。スマートフォンと同じように、インターネットへ常につながり、取り出せばすぐに使えます。また、Wi-Fi標準規格の最新バージョン、ギガビットWi-Fi® with Wi-Fi 6(802.11ax18)は高速・安定通信をワイヤレスで実現します。

カフェ・移動中

パスワードを入力しない安全

データへの不正アクセスの63%は盗まれたパスワードの使用または弱い初期パスワードの突破が原因*。生体認証であればパスワードを入力しているところを見られてしまうというリスクを削減できます。

*Verizon, 2016 Data Breach Investigations Report, 2016.



動画を見る

サテライトオフィス(訪問先)

30分で50%高速充電

30分の充電でバッテリー残量0%から50%にまで回復できるファストチャージテクノロジー。急いでいる時や、すぐに移動が必要な場合に重宝します。また、USB-C PD、モバイルバッテリーからの充電にも対応します。

サテライトオフィス(訪問先)

盗難防止対策 (セキュリティロック)

サテライトオフィスなど不特定多数の人が動くスペースでも「ちょっとトイレへ」とPCからはなれることがあります。そのような場面でセキュリティスロットとロックケーブルがあれば、物理的にもPCを守ることができます。

なぜLTEモデルなのか

昨今働き方改革推進のため、PCを持ち出す利用シーンが増えています。そこで、このLTEの利便性をノートPCでも活用したいというニーズが高まり、LTE対応ノートPCのカテゴリーが脚光をあびています。

LTEは通信料金が高いというイメージがありますが、多様な通信プランが用意され、より手軽に利用できるようになりました。また、LTEの利便性は常に接続されているというリアルタイム性だけでなく、通信傍受が困難なことからセキュリティの観点からも高く評価されています。



管理工数の削減

- モバイルルーターが不要になるため、IT資産管理が簡単
- SIM搭載で万が一の盗難・紛失時の遠隔からのデータ消去やロックなど一括管理が可能



いつでもどこでも接続可能

- Wi-Fi環境がない場所でも安定した高速通信が可能のため、サテライトオフィスや、移動型の店舗などでも手軽に安定したネットワークを提供可能



セキュリティ

- 働き方改革で増加する、社外へのノートPC持ち出しの際も、LTE+閉域網接続サービス*により、どこからでも安全に使用することが可能 (Wi-Fiにも対応可能)

MDM パートナーソリューション
Absolute DDS サービス
※サービスの一例・アクセスプレミアムLTE (株式会社NTTドコモ)・CPA (KDDI 株式会社)

LTE Advanced対応

LTEの利便性は常に接続されているというリアルタイム性だけでなく、通信傍受が困難なことからセキュリティの観点からも高く評価されています。働き方に応じて、社内外、さまざまな場所での快適な通信環境を実現し、さらに、既存のLTEと比較して高速かつ安定した通信が可能となるLTE-Advancedに対応しています。

対応製品

HP Elite Dragonfly, HP Elite x2 G4, HP EliteBook x360 1030 G4, HP EliteBook x360 1040 G6, HP EliteBook 830 G6, HP EliteBook 850 G6, HP ProBook 430 G6

対応バンド(WWANモジュール)

●FDD LTE: Band 1、2、3、4、5、7、8、11、12、13、17、18、19、20、21、26、28、29、30、66
●TDD LTE: Band 38、39、40、41 ●WCDMA/UMTS(3G): Band1 (I)、2 (II)、4 (IV)、5 (V)、8 (VIII)

対応バンド(システムIOTテスト済み)

●FDD LTE: Band 1、3、8、18、19、26、28 ●TDD LTE: Band 41

LTE搭載モバイルPC & 機能マトリクス

		HP Elite Dragonfly	HP Elite x2 G4	HP EliteBook x360 1040 G6	HP EliteBook x360 1030 G4	HP EliteBook 830 G6	HP EliteBook 850 G6	HP ProBook 430 G6	HP ZBook Studio x360 G5 Convertible Workstation	HP ZBook 15 G6 Mobile Workstation	HP ZBook 17 G6 Mobile Workstation
バッテリー											
高速充電機能	(HP Fast Charge) ^{#1}	✓	✓	✓	✓	✓ ^{#2}	✓	✓ ^{#2}	✓	✓	✓
高耐久性バッテリー	(HP Long Life Battery)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
同時充電可能ACアダプター	(HP 65W USB-C スリムACアダプター)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
バッテリー交換サービス	(HP Care Pack サービス)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
バッテリー管理機能	(バッテリーヘルス マネージャー)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
堅牢性とデザイン											
米軍調達基準対応	(MIL-STD 810G)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
HP独自の耐久性試験準拠	(HP Total Test Process)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
デザインの美しさと強さを両立	(アルミニウム合金CNC削出加工)	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓		
音											
プレミアムスピーカー	(Bang & Olufsen 共同開発)	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓
広範囲からの集音	(360°全方位マイク機能)	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓
ノイズ除去機能	(HP Noise Cancellation Software)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
音声バランスの自動調整	(HP Audio Boost)	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓
通信											
ギガビットイーサネット対応	(有線LAN)					✓	✓	✓		✓	✓
MAC Addressバスのルーティング対応	(HP USB-C Mini Dock 他)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Wi-Fi 6対応		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
LTE-Advanced対応		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	(docomo)	✓ ^{#3}	✓			✓ ^{#3}					
システム相互接続試験	(KDDI)	✓ ^{#3}	✓		✓	✓ ^{#3}	✓				
	(SoftBank)	✓ ^{#3}	✓		✓	✓ ^{#3}					
セキュリティ											
ビジュアルハッキング防止	(HP Sure View)	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓		
多要素認証	(HP Client Security)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
紛失対応	(Absolute Control サービス)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
盗難防止対策	(セキュリティロックケーブル用スロット)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

※1 65W ACアダプターとの接続時 ※2 標準アダプターは45Wです。ファストチャージをおこなうには別途65Wアダプターが必要です。 ※3 今後取得予定

コラボレーションを 促進するオフィス 環境に求められる デバイスの条件

場所や時間にとらわれない柔軟な働き方への移行は増えていますが、一方で、オフィスはなくなり、その需要は維持されるとみられています。オフィス内でもモバイルワーカーや在宅ワーカーとのコラボレーションを促進するためのオフィス環境とデバイスが必要です。



固定席

- 画面を2つ以上使えるマルチディスプレイに対応できること
- 長時間作業も疲れにくい調節機能付きのモニターであること
- Webカメラ搭載等でコラボレーションも簡単にできること



会議室

- Web会議システムへの操作が簡単であること
- Web会議システムに対応していること (Microsoft TeamsとZoom)
- 特定用途専用に行える端末であること (Windows 10 IoT Enterprise)



フリーアドレス

- モニターの設置面積をゼロにし共有スペースを広々と使えること
- ケーブル1本でさまざまな機器と接続できるドックがあること
- セキュリティロックケーブルで盗難を防止できること



コラボレーションを促進する オフィス環境に求められる デバイスのポイント

会議室

PCと電話の融合

通話の機能に特化した、「コラボレーションカバー」を組み込むことでPCと電話の融合が実現。HP Elite Slice ワンタッチ ミーティング機能を使用し、通話ボタンを押すだけで簡単に会議の開始、参加をおこなうことができます。さらに会議中にミュートや音量調整等も調整できます。

固定席

デジチェーン対応

1台のPCに2台以上のディスプレイをつなぐ「マルチディスプレイ」。作業効率の改善によりオフィスの生産性が4割以上も向上^{*}。さらに高解像度対応のDisplayPortは複数のディスプレイをデジチェーン(数珠つなぎ)にできるというメリットも。PCに何本もケーブルをつないでデスクが乱雑になることがありません。

^{*}Jon Peddie Research *Multimonitor Usage and Trends* Report, July 2017



固定席

POPアップWebカメラ

オンラインコラボレーションが可能なカメラがモニターにあれば、簡単に、効率的で質の高いコラボレーションを実現。PC本体にUSBポートを持たなくても、モニターのUSBポートにヘッドセットを接続して、ビデオ会議ができます。

固定席

ブルーライトカット

目に最も大きなダメージを与えるのが、モニターから発生するブルーライト。「低ブルーライトモード」を搭載しているモニターなら、明るく刺激の強いブルーライトから、柔らかな暖色スペクトラムに色をシフト可能です。



低ブルーライト表示

標準表示

会議室

Microsoft TeamsとZoomをサポート

離れた拠点とのコミュニケーションに必要となるのが、Web会議システムです。HP Elite Slice G2はMicrosoft TeamsとZoomをサポート。参加人数も多いオフィスからのWeb会議には専用のソリューションに対応したデバイスが活躍します。

^{*}Microsoft TeamsとZoomについてはP.28-29をご覧ください。



会議室

タッチ画面操作で簡単に会議に参加

周辺機器への接続など平均12分^{*}かかるといわれるWeb会議の開始。タッチパネル上でコントロールできる、HP Center of Room Controlがあれば、必要な時にすぐミーティングを開始、参加者の追加やコンテンツの共有も簡単に操作できます。

^{*}HP, Proprietary Research with Panel, 2015

HP Center of Room Control



フリーアドレス

インターネット接続と給電機能

マウス/キーボード、LANケーブル、外付けハードドライブなどモニター側に接続できれば、PCはそのモニターとケーブル1本でつなぐだけでそれらの周辺機器に一発接続。PCに有線LAN端子がなくてもインターネット接続ができ、ACアダプターを持ち歩かなくてもモニターから給電できます。



フリーアドレス

高さ変更可能 チルト/ピボット対応

ディスプレイ・モニターの表示位置や角度が適していない場合、目・肩・腰などに大きな負担がかかり、疲れやストレスにつながります。チルト(垂直角度調節)、ピボット(画面回転)など、使用者に合わせた表示位置や角度調整できる機器を選ぶことが大切です。



フリーアドレス

VESAマウント対応

VESA規格^{*}対応のモニターは壁面への取付が可能。デスクの設置面積を實質ゼロにすることで、フリーアドレスやミーティングスペースを広々と使うことができ、業務効率もアップします。

^{*}VESA規格とは、取付金具のネジ穴間隔について定められた国際標準規格です。



会議室

Windows 10 IoTで専用端末にも

特定用途専用端末にも適したWindows 10 IoT Enterprise^{*}は用途に応じて他の機能が使用できないようにカスタマイズが可能。一台一役となるため、ユーザーにとっては使いやすく、管理者にとっては管理の簡素化が実現します。

^{*}Semi-Annual Channel (SAC)版となりますので年2回の機能更新があります。

フリーアドレス

ドッキングステーションになるモニター

ノートPCとドッキングモニターHP E243dやHP E273dを1本のケーブルで接続するだけで、複数の周辺機器を同時に接続。誰もが利用できるフリーアドレスなどに共用モニターとして設置することで、オフィスの環境を改善する方法のひとつとなります。

HP E243d 搭載ポート

- ▶ USB-A
- ▶ Audio Out
- ▶ USB-A
- ▶ RJ45
- ▶ USB-B
- ▶ USB-C™ 3.1 (65 W)
- ▶ Audio In
- ▶ VGA
- ▶ DisplayPort™ Out
- ▶ HDMI
- ▶ DC In/Out



HP E243d 接続用同梱ケーブル

- USB-Cケーブル×1 (1.8m)
- USB A-Bケーブル×1 (1.8m)
- HDMIケーブル×1 (1.8m)
- 電源ケーブル×1 (1.83m)



動画を見る



共用モニターのポイント

フリーアドレスでは共用モニターに各自のノートPCを接続するというスタイルが一般的です。誰もがストレスなく使える共用モニターのポイントとは。

1. 大きな画面サイズのモニターの採用が増加、その43%以上^{*1}が23インチ以上を採用
2. 複数モニターの利用が期待する生産性の向上は最低でも40%^{*1}
3. 75%^{*2}の全世界のタスクワーカーがデスクで作業。
人間工学に基づき、誰もが快適に使える製品設計

^{*1} Jon Peddie Research: Multi-monitor Usage and Trends, Report, July 2017
^{*2} HP Commercial Displays & ITDM's: Understanding display purchase preference with ITDM's, May 2015

オフィス環境改革に向けたデスクトップPC およびモニター機能マトリクス

	HP Elite Slice G2	HP EliteDisplay 14インチ モバイルディスプレイ S14	HP EliteDisplay 23.8インチ 液晶モニター E243d	HP EliteDisplay 27インチ 液晶モニター E273d	HP EliteDisplay 27インチ QHDモニター E273q	HP Z32 4K UHDプロフェッショナル 液晶モニター
モニターパネル						
IPSパネル		✓	✓	✓	✓	✓
ブルーライト軽減機能		✓	✓	✓	✓	✓
フリッカーフリー			✓	✓	✓	✓
ユーザビリティ						
マルチディスプレイ			✓	✓	✓	✓
デイジーチェーン (DisplayPort対応)				✓	✓	
ディスプレイ背面取付 (VESA対応)	✓					
壁面取付 (VESA対応)	✓		✓	✓	✓	✓
周辺機器との接続 (USB Type-C対応)	✓	✓		✓	✓	✓
	✓		✓	✓	✓	✓
モニター角度調節機能			✓	✓	✓	✓
				✓	✓	✓
			✓	✓	✓	✓
			✓	✓	✓	✓
セキュリティ						
盗難防止対策 (セキュリティロックケーブル用スロット)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
コラボレーション						
Webカメラ				✓	✓	
プレミアムスピーカー (Bang & Olufsen 共同開発)	✓					
広範囲からの集音 (360°全方位マイク機能)	✓					
ノイズ除去機能 (HP Noise Cancellation Software)	✓					
音声バランスの自動調整 (HP Audio Boost)	✓					
ワンタッチミーティング機能	✓					



HP Workstation + HP Remote Graphic Softwareで 建設・製造業界の働き方改革を実現

HPが考える働き方改革はデスクトップ・ノートPCユーザーに限定しません。HPが無償で提供する画面転送ソフトウェア「HP Remote Graphic Software (RGS)」は独自の圧縮技術「HP3テクノロジー」を採用し、転送データを170:1の高い圧縮率で高速にエンコード。広帯域の有線ネットワークが使えない環境でも、データ容量の大きい3Dグラフィックス動画や画像の回転なども、オリジナルとほぼ同等のイメージオリティでストレスなく円滑に表示。さらにHP RGSでは通信を暗号化するので、通信傍受によるデータ漏えいのリスクもありません。建設業界における設計業務や製造業界における3D CAD業務に従事するユーザーの働き方改革もサポートします。

※米航空宇宙局(NASA)の火星探査の画像転送に利用された技術です。



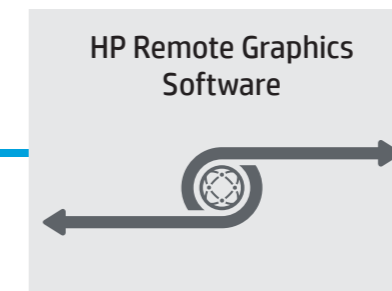
革新的なコンパクトデザインに
パワフルな機能を凝縮したミニワークステーション
HP Z2 Mini G4 Workstation

HP Z2 Mini ラックマウントソリューションと HP Remote Graphics Software

無償のHP Remote Graphics Softwareで、
仮想化ではなくシンプル・セキュアで低コストな
1to1 Remote接続が可能に

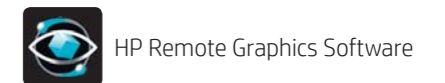


42Uラックにインテル® Xeon® プロセッサ搭載の
HP Z2 Miniを最大56台搭載可能。



LEOSTREAM™

HP Z2 Miniの台数が多くなった
場合は、コネクションブローカー
「LEOSTREAM」などでの管理が可能。



テレワーク導入に向けたHP製品



HP Elite Dragonfly

すべてを軽くする ビジネスコンバーチブルPC

現代においてビジネスプロフェッショナルは、オフィス内や外出先、出張先などさまざまな場所を自由に移動する必要があります。「HP Elite Dragonfly」は、質量999gの軽量かつパワフルなPCながら次世代無線LAN Wi-Fi 6を備え、構成により最大約24.5時間の長時間バッテリー駆動を実現。4G LTE搭載モデルでは、場所を選ばずさまざまな場所から接続して作業をおこなうことができます。

- Windows 10 Pro 64bit
- 第8世代インテル® Core™ プロセッサ
- メモリ最大16GB、ストレージ最大2TB M.2 SSD
- 13.3インチワイドフルHD 液晶タッチディスプレイ (1,920×1,080)
- バッテリー駆動時間 最大約24.5時間
- 304.3×197.5×16.1mm
- 約999g
- MIL STD 810G(米軍調達基準)試験
- 4G LTE、Wi-Fi 6、Bluetooth 5.0対応



HP Bluetooth トラベルマウス

(6SP30AA#UUF)

モバイルワーカーのための 高性能5ボタンBluetoothマウス

薄型/軽量で手に馴染むアシンメトリー設計のワイヤレスマウス。ガラス面など場所を問わず正確にスクロールでき、自分好みに機能をカスタマイズできるプログラマブルボタン搭載。同梱の単三電池2本で最長2年使用が可能です。

- プログラマブルボタン: 5機能(左右クリック、クリックホイール、進む/戻る)
- 対応OS: Windows 10 RS4/mac OS 10.13 以上(Bluetooth 4.0以上)
- 101×65×32mm
- 約105g



HP USB-C Mini Dock

(1PM64AA#UUF)

モバイル環境での生産性を高める、 携帯用ドッキングステーション

PC本体を充電しながら HDMI、VGA、RJ45、USB3.0×1、USB2.0×1に拡張接続。手のひらサイズで持ち運びに最適。複数の変換ケーブルを持ち運ぶ必要がなく、このオプションのみでさまざまな周辺機器へ接続することができます。

- 145×55×17.5mm(突起部含まず)
- 132g



HP 65W USB-CスリムACアダプター

(3PN48AA#ABJ)

PCとスマートフォンを同時に充電できる、 スリムACアダプター

急速充電に対応するパワフルな65W ACアダプター。本体側面にはUSB-Aポート×1を搭載、PCを充電しながら、スマートフォンへの同時充電も可能。スリム&コンパクトでファブリックケーブルは本体に巻き付けることもでき、持ち運びにも便利です。

- 97×53.5×21mm
- 294g、ACケーブル62g



HP Sure Key ケーブルロック

(6UW42AA)

物理的セキュリティを高める、 盗難防止ケーブル

机やラックなどの適切な場所にワイヤーを通し、セキュリティスロットにセットするだけで盗難防止を実現。付け替えが可能な4種類のロックヘッドを付属し、ノート/デスク/ディスプレイなどマルチで使用可能。ロックヘッドをセット後、ワンプッシュでロックが完了します。

- ケーブル長: 183cm
- ケーブル+クリップ: 142.1g
- ロックヘッド: 各4.8g
- 同梱物: ロックヘッド×4、ケーブルマネージメントクリップ×1、鍵×2



オフィス環境改革に向けたHP製品

HP Elite Slice G2

直感的に操作可能なインターフェイス、 クリアで高品質なオーディオで先進的な会議を実現



手のひらに乗るサイズの本体にモジュールを積み重ねることでさまざまな機能の拡張が簡単にできる超小型PC、「HP Elite Slice」の第2弾としてコラボレーション機能に特化した「HP Elite Slice G2」。OSは特定用途専用端末にも適した、Windows 10 IoT Enterprise*を搭載。ノイズキャンセリング機能、Bang & Olufsen監修のオーディオ機能で先進的な会議を実現します。

*Semi-Annual Channel (SAC) 版となりますので年2回の機能更新があります。

- Windows 10 Pro 64bit
- 第7世代インテル® Core™ プロセッサー
- メモリ最大32GB、ストレージ最大128GB M.2 SSD
- 165×165×112mm(本体)
- 約1.52kg(本体)

HP EliteDisplay 23.8インチワイドIPSモニター E243 (1FH47AA#ABJ)

HP EliteDisplay 27インチQHDモニター E273q (1FH52AA#ABJ)

人間工学に基づく設計を追求 パフォーマンス ディスプレイ・モニター



E243

E273q

23.8インチフルHD、27インチQHDのIPSパネルを採用。3辺が狭額ベゼルとなり、マルチディスプレイ時にシームレスな画面表示ができます。見る角度により色合いが変化する「色度変移」が小さく、広い角度で鮮明な表示を実現。VGA、DisplayPort、HDMIポートを標準搭載し、多様なデバイスと接続。左右・高さ調整およびピボット回転に対応、人間工学に基づく製品設計により、ユーザーの快適な姿勢をサポートします。

- E243 23.8インチフルHDワイドIPSパネル(1,920×1,080)
- E273q 27インチQHDワイドIPSパネル(2,560×1,440)
- 入力端子 VGA、HDMI、DisplayPort、USB Type-C*
- E243 539×205×463mm(モニター台含む・画面直立状態) 約5.64kg
- E273q 612.6×214.0×522.9mm(モニター台含む・画面直立状態) 約7.4kg

*E273qのみ

HP EliteDisplay 23.8インチドッキングモニター E243d (1TJ76AA#ABJ)

HP EliteDisplay 27インチUSB-Cドッキングモニター E273d (5WN63AA#ABJ)

USB Type-Cケーブル接続でノートPCや超小型PCに 給電可能なハイエンドドッキングモニター



E243d

E273d

23.8インチ、27インチフルHDワイドIPSパネルを採用。マウス/キーボード、LANケーブル、外付けハードドライブなどモニター側に接続できるので、PCに接続するのはUSB Type-Cケーブル1本のみ。給電機能搭載によりデュアルディスプレイを実現しながらノートPCを充電可能。ポップアップカメラ標準搭載でPC本体にUSBポートが無くて、モニターのUSBポートにヘッドセットを接続し、ビデオ会議ができます。

- 23.8インチ、27インチワイドIPSパネル(1,920×1,080)
- 入力端子 VGA、HDMI、USB Type-C、USB Type-B*
- E243d 538.8×205×463mm(モニター台含む・画面直立状態) 約9.72kg
- E273d 610.94×214.0×508.5mm(モニター台含む・画面直立状態) 約7.52kg

*E243dのみ

HP Z2 Mini G4 Workstation

革新的なコンパクトデザインに パワフルな機能を凝縮したミニワークステーション



全容積が2.7リットルの超小型の筐体で、高いパフォーマンスを提供。NVIDIA® Quadro® P600や、オプションでNVIDIA Quadro P1000グラフィックスにも対応し、プロフェッショナルワークフローの可視化とレンダリングにおける応答時間を向上。また、6コア対応プロセッサーであるインテル® Xeon® プロセッサーを搭載し信頼性を強化。ミッションクリティカルな環境にも安心して導入できる、優れたミニワークステーションです。

- Windows 10 Pro for Workstations 64bit
- インテル® Xeon® プロセッサー
- メモリ最大32GB、ストレージ最大1TB M.2 SSD
- 216×216×58mm
- 約2.18kg

HP Z32 4K UHDプロフェッショナル液晶モニター

(1AAB1A4#ABJ)

4辺狭額縁ベゼル採用 高解像度4K UHDディスプレイ



3,840×2,160の31.5インチ4K UHDの解像度、sRGB比99%の色域。最狭部8.6mmの4辺狭額縁ディスプレイ。本体背面にDisplayPort 1.2×1、Mini-DisplayPort×1、HDMI×1入力端子のほか、映像入力や最大65W給電可能なUSB Type-Cポート×1を搭載。USB Type-Cケーブル一本でノートPCへ給電しながら外部ディスプレイとしても利用可能です。

- 31.5インチ IPSパネル(3,840×2,160)
- 入力端子 HDMI、DisplayPort、Mini-DisplayPort
- 614.1×230×509.8mm(高さは最高位の数値)
- 約9.38kg

HP EliteDisplay 14インチ モバイルディスプレイ S14

(HP Directplus専用モデル)

電源不要で持ち運べるディスプレイ 対面業務や在宅勤務の効率化に貢献



1,920×1,080の14インチフルHDワイドIPSガラスパネルを採用したモバイルディスプレイ。薄さ8.6mm、1kgで容易に持ち運ぶことができます。USB Type-Cケーブル1本で接続しPCへの電源も供給できるので、バッテリーを持ち歩く必要もありません。ケーブル1本で接続できるため場所を取らず、ちょっとしたミーティングスペースでも素早く対応。また、標準同梱の液晶カバーは傷や汚れから守り、折りたたむことでスタンドとしても使用できます。

- 14インチ IPSパネル(1,920×1,080)
- 入力端子 USB 3.1 Type-C
- 327.8×8.6×209.5mm
- 約1.0kg



HPがお勧めするコラボレーションクラウド



Microsoft Teams

Microsoft Teamsは、チームで働くすべての人々に、チームが必要とする様々なツールと共に、コンテンツを共有しながら、チャットや音声、映像を含む会話ができる環境を提供します。慣れ親しんだOfficeアプリケーションに完全に統合され、またOffice 365の、グローバルで安全なクラウド基盤によりサービス提供されています。1つの共有ワークスペースでチームのすべての会話、ファイル、会議、およびアプリをライブで共有し、お気に入りのモバイルデバイス上で実行。締め切りに向けて追い込みをかけている場合でも、次の大きなアイデアを共有する場合でも、Teamsを使えば、より多くのことを実現できます。

<https://www.microsoft.com/teams>



Webサイト



Zoom

Zoomは、モバイルデバイス、デスクトップ、電話、およびルームシステムで利用することができる、簡単で信頼できるクラウドプラットフォームを使用した、ビデオ会議、音声会議、コラボレーション、チャット、ウェブセミナーなど、現代企業向けのビデオコミュニケーションのリーダーです。Zoom Roomsはソフトウェアベースの独自の会議室ソリューションで、世界中の役員会議室、大小会議室、打ち合わせ会議室、トレーニングルーム、さらには役員室や教室でも利用されています。2011年の設立以降、Zoomは企業と組織に対して、摩擦のない環境でチームを団結させてさらなる成果を挙げられるよう支援しています。

<https://zoom.us/>



Webサイト

モバイルワーク時代の運用管理を支える HP TechPulseプロアクティブ管理サービス



村野太郎
サービス・ソリューション事業本部
クライアントソリューション本部
ソリューション営業部
サービススペシャリスト

—モバイルワーク時代にマッチしたデバイス管理サービスとはどのようなものでしょうか。

会社の外にデバイスが持ち出される状況であっても、正しい場所で使われているか、また意図したセキュリティポリシーが守られているかを都度確認する必要があります。加えてデバイスによりトラブルが起きたときの対応も変わってくるため、適切に利用状況を把握しておくことが重要です。そうした状況に備えるために私たちがご用意したのが、『HP TechPulseプロアクティブ管理サービス』です。

—どのようにしてモバイルデバイスの利用状況を確認するのですか。

このサービスはクラウドで提供されます。デバイスにソフトウェアをインストールするだけで必要な情報をクラウド上にアップロードし、一元管理を可能にします。そのため、外で使っているデバイスでも、インターネットに繋がらさえすれば自動的にデータが収集されます。管理者はブラウザからデバイスの情報を一目で把握することができ、数クリックで各種報告レポートの出力が可能です。これによって企業が持っているIT資産の可視化が可能となり、課題の早期発見やデバイス配置の最適化などを実現します。

—特長的なサービスの具体例を教えてください。

例えば外出先で使うために配布しているモバイルデバイスのストレージを監視し、故障などの予兆を事前に検知することができます。モバイル

ワークが進むと、外出だけでなく、社員がオフィス以外で仕事をする機会が増えますよね。オフィス外でストレージが故障してしまうと全く仕事にならないといったことにもなりかねませんので、危険度が高いデバイスをあらかじめピックアップし、事前に対策が打てるのは大きなメリットです。故障の予兆を検知した段階で、次回の入社日に合わせて修正手配しておくなど、離れた場所で仕事をする社員の環境をしっかりとサポートできるようになります。同様にモバイルデバイスならバッテリートラブルも予兆検知ができるので、運用管理の効率は大きく向上します。

他にも、デバイスの電源を入れてからOSがたちあがるまでの時間を監視する機能があります。起動が極端に遅いマシンを事前にピックアップできるので、大きなメンテナンスが必要な時期や、買い替えタイミングなどを設定する際の材料にもなりますし、ユーザーからのクレームも起こりにくくなります。

デバイスの起動時間は、使っていくうちに遅くなる傾向にあるのですが、極端に時間が掛かるケースの原因として、不要なソフトウェアがインストールされていたり、故障の予兆となっていたりすることも考えられます。また、朝の出勤時は誰もが早くデバイスを起動したいと思いますので、自分だけが遅いとなれば、IT管理者へのクレームも出やすくなります。どんなソフトウェアをインストールしたら遅くなったのかといった原因を探ることにより、自社のIT環境と相性の悪いものを見つけることが可能になるのもメリットです。

—デバイス配置の最適化とはどのようなものでしょうか。

IT部門や経営層にとって、モバイルデバイスの最適な配置を考えることは過剰投資を抑えるためにも不可欠です。このサービスを使えば、モバイルデバイスを含め、自社で管理されているIT資産がどのように使われているかを多角的な視点で可視化することにより、今どんなユーザーにどのようなデバイスが必要なのかを判断することができますようになります。

例えば、営業職でも担当企業や役割によって移動距離は大きく変わります。仮に東京都内の拠点から地方企業に出向くことが多ければ軽量のモバイルデバイスが最適ですが、内勤営業といったように実際には移動距離が多くないといったケースでは、コストパフォーマンスがよいデスクトップPCや、軽量性をそこまで求めない手ごろなノートPCでも生産性には大きく影響しないはずです。

そうした点を考えずに、単純に営業部門全員に高価なモバイルデバイスを配布してしまうと過剰投資につながります。そのため、モバイルワークの採用を前提にデバイスの入れ替えを検討するのであれば、既存の環境でどのようなデバイス運用をしているかを分析するといったことがとても重要になります。

このソリューションは、モバイルデバイスの移動距離も可視化できますので、こういった分析が可能になります。

—運用データを分析するにはどのようにすればよいでしょうか。

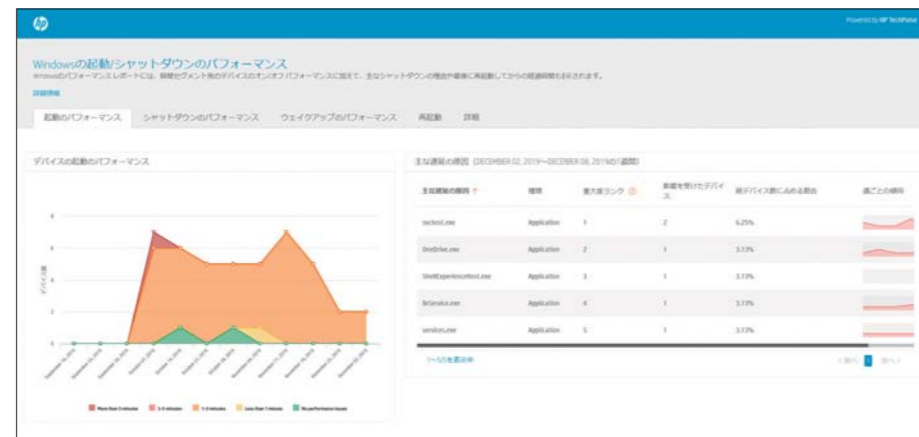
規模や業種によって違いはありますが、おおよそ1~2か月もあれば最適値を探せるだけのデータが収集できると思います。最適なデバイス配置を実現し、ユーザーの生産性を最大限に向上させるための時間としてはとても短期間だと思います。

HPであれば、PCはもちろん、あらゆる周辺機器をワンストップで提供できるうえに、世界的にも評価の高いサポート力と組み合わせることで、運用効率はさらに上がるはずで、分析後の具体的なデバイス選びについてもぜひご相談いただければと思います。

—最後にこのサービスのおすすめポイントをご紹介ください。

ここで挙げた機能はほんの一例です。実際にデバイスの運用管理に役立つ機能はまだまだまだあります。また、新機能がリリースされた際に無償でアップデートされていくというのも、クラウドサービスならではのメリットだと思います。

デバイスの管理を容易にし、管理者の負荷軽減やユーザーの業務効率化が図れるだけでなく、経営層にとっては投資の最適化へ向けての判断材料にも使えるのが「HP TechPulseプロアクティブ管理サービス」です。運用管理が難しいモバイルワーク時代に必須の保守サービスだと自信をもっておすすめできます。すべての企業様にお使いいただきたいですね。



濃い茶色部分は特に大きな問題があるデバイス。メンテナンスの実施や買い替え等の可能性を事前に把握することができます。

HP TechPulseプロアクティブ管理の詳細情報は、
<https://www.hp.com/jp/techpulse>
をご覧ください。